

児童家庭福祉論Ⅰ

科目ナンバリング LAW-301
選択 2単位

杉山 有沙

1. 授業の概要(ねらい)

日本社会には、子どもをめぐる様々な問題が存在します。例えば、児童虐待や子どもの貧困化など、悲しい問題を、新聞やニュース、テレビで目にした方も多いのではないのでしょうか。社会において、子どもは弱い存在であるというなら、私たちは何ができるでしょう。

本講義では、子どもを取り巻く様々な問題に対して、国や自治体、地域、そして私たち自身が何ができ、何をすべきなのか、について、包括的に検討していきます。

2. 授業の到達目標

- ①児童家庭福祉法制度一般と各論の基本構造を理解する。
- ②児童家庭福祉法制度をどのように保障していくべきか、について考えることができるようになる。
- ③自分の問題として、児童家庭福祉法制度のあり方を考えることができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

定期試験(70点)と中間レポート(30点)で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

山縣文治 少子社会の子ども家庭福祉 放送大学教育振興会

5. 準備学修の内容

予習:次回授業のために、参考文献にある教科書に目を通しておいください。

復習:授業レジュメを再度読んでおいください。

6. その他履修上の注意事項

テレビや新聞などを読んで児童家庭福祉法制度の問題点などを積極的に調べてみてください。また、児童家庭福祉法制度は、生活に密着した制度です。ぜひ、ご家族を始め身近な方と話し合ってください。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(本講義全体の見取り図、受講の目的と意義)
- 【第2回】 現代社会の特徴と子ども家庭福祉問題
- 【第3回】 子ども家庭福祉の基本的枠組みと理念・子ども家庭福祉のあゆみ
- 【第4回】 子ども家庭福祉の援助
- 【第5回】 子ども家庭福祉の法律と制度体系
- 【第6回】 子ども家庭福祉の実施体制
- 【第7回】 就学前の保育・教育と子ども家庭福祉
- 【第8回】 地域子育て支援と子ども家庭福祉
- 【第9回】 社会的養護と子ども家庭福祉
- 【第10回】 子ども虐待と子ども家庭福祉
- 【第11回】 ひとり親家庭と子ども家庭福祉
- 【第12回】 障がいのある子どもと子ども家庭福祉
- 【第13回】 母子保健と子ども家庭福祉
- 【第14回】 さまざまな子ども育成施策と子ども家庭福祉
- 【第15回】 まとめ